



今年度も、残り数週間となりました。皆さんは、この一年間でどんな本を読みましたか？新しい本との出会いはありましたか？ほんの少しでも、そのお手伝いできたとしたらうれしいです。来年度も、たくさんの本との出会いがありますように・・・。

卒業した3年生からおすすめの本

3-1 こはるさん

『新 謎解きはディナーのあとで』

東川篤哉：著 小学館

主人公の宝生麗子が、現職刑事と財閥令嬢という二足のわらじを履きながら、天才的な推理力を持つ執事の影山の力を借りて難事件を解決していく物語です。謎解きの前の2人のやり取りがおもしろく、ミステリーとコメディのどちらもあります。

続きの作品も出ているので、気に入ったらそちらも読んでみてください。

3-2 知花さん

『思いはいのり、言葉はつばさ』

まはら三桃：著 アリス館

この物語は、男女差別が残る中国で、文字は男性のもので女性には必要ないという時代の話です。

主人公のチャオミンは、女性が密かに習うニューシュ(女書)という文字を知り、学びます。そしてさまざまな出会いの中で、言葉を文字で伝える素晴らしさを感じていきます。メールでの簡単なやり取りが当たり前の今こそ、読んでほしい作品です。

3-3 里奈さん

『9月1日の君へ 明日を迎えるためのメッセージ』

代 麻理子：著 教育評論社

生きていく中で高い壁にぶつかる事や息が詰まるような日々が続いた時に読んでほしい作品です。

私自身、辛い時にこの本を手に取りました。その時の自分の気持ちや本当に言いたい事を全て語ってくれていました。自分を持つことを忘れず、自分なりの人生を歩むために、今までの自分と向き合う第一歩になると思います。

3-3 龍進さん

『自分のミライの見つけ方』

児美川孝一郎：著 旬報社

この本は、10代の自分達がこれからの人生でフツーとは何か、夢って何だろうと問いかけてくれる本です。今まで常識だと考えられていたことが、実は違っていたらあなたはどう思いますか？もしかしたら、目標を立てる事や価値観についての考え方も変わるかもしれません。ミライを考えるきっかけとして、ぜひ読んでみてください。

図書室からのお知らせ

☆借りている本は**3月14日(金)**までに、全て返却をしてください。

☆春休み前の貸出

3月17日(月)～21日(金)

貸出冊数 **5冊まで**

返却日 **4月11日(金)**

※学級文庫の未返却本もあります。

ロッカーや部室、自宅部屋などをもう一度確認してください。

今年度 図書室の本をたくさん

利用した1、2年生

- 👑 1-2 ひなたさん
- 👑 1-1 楓真さん
- 👑 1-1 結津さん
- 👑 1-2 遼真さん
- 👑 1-3 真さん
- 👑 1-2 陽菜さん
- 👑 1-3 紗雪さん
- 👑 1-3 明津さん
- 👑 2-1 琉生さん

来年度も、たくさんの本を読んでください。

《令和6年度よく読まれた本》

令和7年2月末現在

- ★死神うどんカフェ1号店シリーズ
- ★歪みの国のアリス
- ★すべての恋が終わるとしても
- ★天久鷹央の推理カルテシリーズ
- ★あの花が咲く丘で
君とまた出会えたら。
- ★はたらく細胞シリーズ
- ★86-エイティシックスー
シリーズ など